

NEWSLETTER

THE JAPANESE SOCIETY FOR
PARAPSYCHOLOGY

MARCH

No 23

故ライオン博士の葬儀行われる

前々号でお知らせしましたように、2月20日(金)の午後4時30分ライオン博士が逝かされた。日本からは本学会を代表して入谷宗司氏が3月22日の追悼会に参列されました。場所はDuke大学のチャペルで本学会の花輪を聖前に捧げ博士の冥福をお祈りいたしました。列席者は各口の超心理学創始者を合せて約300名、博士の業績と人格をたいへんしのぶ会となりました。博士の追悼号を次号に予定しております。

お知らせ

3/42回例会研究会

下記要領で4月研究会を主催致します。

日時: 1980年4月20日(日) 10.00~16.00

場所: 借行社 東幸町千代田区五番町1-1

03-263-0851(日電市谷駅下車先が1号線)

協議: 司度計画K-11(続)

紹介: Electrical responses evoked from the human brain: Scientific American 1979, 12月: 紹介者 松田 守

輪読: Handbook of Parapsychology 担当 長 芳一

学会ニュース

3/41回例会研究会 1980年3月16日(日)

10.00~16.00 学芸会館本館K(開催)

出席者 アングーソン, 金沢元基, 入谷宗司, 長芳一

小人数のため翌年の司度計画は4月に延期。長氏のハ

ントバツの輪読も行われた。

1979 Parapsychological Association Convention
の報告

(Parapsychology ReviewのPalmerの記事から)

3/22回PA年次大会は1979年8月15日から18日までの4日間、カリフォルニアMoragaのSt. Mary's Collegeで開催された。プログラムは研究論文/リサーチ・ブリーフ22, シンポジウム3, ラウンドテーブル3, また新設のPoster Sessionで論文20とシンポジウム1つがタイトル(1)発表された。ランダムジェネレーターを用いたPK研究

○エル大学のAriel Leviはカリフォルニア大学のRobert Morris博士の研究の追試に成功した。被験者が進行中の視覚フィードバックを受けると、goal-oriented認知計画の方がprocessor-oriented認知計画よりもこのPK得点が高かった。しかしフィードバックが減少するとこの傾向は逆転した。

○セントレイト大学のRichard Broughton, Brian Millar, Martin JohnsonはPK得点低下の治療法としてAversion therapy(嫌悪治療)として懲罰シヨツクを与え成功したと報告した。

○Maimonides Medical CenterのLawrence Tremmel, Charles HonortonはPK研究のプログラムにおいて強制視覚的アラームディスプレイを用い、フィードバックを強化, high-aim task, low-aim taskにおいてproperに方向に有意な変化のdifferential effect(分化効果)を得た。これは五物系に及ぼすPK

○ワシントン Winter Park, Rollins カレッジの Hoyt Edge は土地のありえない能力者か消化酵素トリプシンの活動に通常には有意な効果を及ぼすことが出来ると報告した。これはSmithの追試として行われたものであり、Smithの被験者と異なり、Edgeの被験者はトリプシンの活性化をよりと試みたとし、かえってそれを抑制させた。

○カリフォルニア大学のElizabeth Rauscherと Beverly Rubik はユニバーシティ of a Human Dimensions InstituteのLucis gattoと共同で、催眠治療師Olga Worrallの100テリアの成長、これは自動的に影響を及ぼすことにより

